

満開のさくらを満喫！
八峰町さくらまつり

4月16日から5月8日までの間、八峰町さくらまつりが御所の台ふれあいパークを会場に開催されました。4月23日、24日はハタハタ館駐車場の一部でイベントが行われ、八森子ども園の園児によるおゆうぎや、八峰民謡サークルの踊り、秋田在住のアイドルグループ「pramo(プラモ)」のミニライブなども披露されました。また、ご当地グルメの出店もあり、花見のお供にと買い求める人で賑わいました。御所の台ふれあいパークには、家族連れや友達同士で訪れた人が敷物を敷いて弁当を食べるなど、思い思いにさくらまつりを満喫しました。



24日は好天に恵まれ絶好のお花見日和に

大きくなって帰ってきてね
水産教室でサケの稚魚を放流



声を掛けながらやさしく放流しました

4月8日、少年水産教室が開催され、八森小と峰浜小の4年生が参加し、真瀬川でサケの稚魚を放流しました。この事業は、稚魚の放流事業を通じて、水辺環境保全に理解を深めるとともに、魚の生態や水産業に対して関心を高め、将来の漁業及び水産業の担い手を育成することを目的としています。県水産振興センターの土田さんがサケの生態などについて説明した後、児童からの質問に答えました。その後、川辺へ移動し、バケツに入れたサケの稚魚を放流しました。感想発表では、「大きくなってこの川に戻って卵を産んでほしい」などと話していました。

住んでいる地域をきれいに
全町一斉清掃を実施

4月10日、全町一斉清掃が実施され、早朝から多くの住民が参加しました。八森地域では側溝の泥上げなどを行いました。峰浜地域では、午前5時半に集まった各地区の住民が班ごとなどに分かれて、道路や路肩、側溝に落ちているゴミを拾い集め、自分の住んでいる地域をきれいにしようと取り組みました。回収される量は年々減少してきていますが、ゴミのないきれいなまちづくりをこれまで以上に進めていくためには、一人ひとりのマナーの向上が求められます。お互いに声をかけ合い、協力して取り組みましょう。



住民の皆さんのおかげで町がきれいになりました

新たな生活に期待ふくらむ
町内各小中学校で入学式

4月7日、八森小、峰浜小、八峰中へ入学式が行われ、新1年生が新たな学校生活をスタートさせました。八森小には16名、峰浜小には22名、八峰中には47名の児童・生徒が入学しました。このうち、峰浜小と八峰中は統合後初めての入学式でした。峰浜小では、佐藤校長から「朝ごはんをしっかり食べる、交通事故に気を付ける、大きな声であいさつするという3つを約束して元気にならぼう」とあいさつがあったほか、町議員からランドセルを手渡された1年生は、嬉しそうにいました。



ランドセルがプレゼントされ大喜び！

秋田パイロットクラブから
ヘルメットが寄贈されました



ヘルメットで頭をしっかり守ろう！

4月26日、八森小と峰浜小において、秋田パイロットクラブ（佐々木恵理香会長）によるヘルメット贈呈式が行われました。同クラブは、脳関連障害者とその家族の支援活動を行っている国際民間ボランティア団体です。一生をかけて脳を守るという啓発活動の一環として、ヘルメットが本町の小学1年生に贈呈されました。ヘルメットは柳葉敏郎チャリティソフトテニス大会の寄付金を活用しています。

贈呈式では、佐々木会長のあいさつに続き、オリジナル紙芝居が披露され、ヘルメット着用の大切さを学んだほか、記念撮影が行われました。

おいしいきのこができますように
きのこ植菌体験教室

4月23日、ぶなっこランドにおいて、きのこ植菌体験教室が開催されました。当日は町内外から親子連れを中心に、合わせて35名の方が参加しました。この教室はキノコの生産過程を知ってもらうと毎年行われています。昨年まで町主催で開催していましたが、今年から白神ネイチャー協会（辻正英会長）が主催し、通算すると26回目です。この日準備されたホダ木は400本で、うち150本にシイタケのコマを、250本にナメコのコマを打ち込みました。参加者からは「ストレス発散になった」「楽しかった」などの感想が聞かれ、帰りには一人一本のシイタケのホダ木がプレゼントされました。



リズムカルにコマを打ち込みました



ご法事・お祝い・会合に

彩り豊かな すし折詰

法事料理
お寿司・お刺身
オードブル承ります
八峰町地区 [昼・夜とも]
3,000円以上で配達致します。

新しい葬儀のお花 (仏事アートフラワースタンド)

～旅立つ方へ～ [送り飾り]

鮎待夢の商品券を添えてお届けします。

お寿司の宅配とお持ち帰り

鮎待夢

すしたいむ
SUSHI TIME

能代店 能代市南陽崎31-20
TEL.0185-55-3277